

〈学習の導入〉

- ・ 準備は昨日と同じ。ノートに鉛筆一本はさんでください。始めます。座ったままでいいです。
- ・ 家に帰ってから読んでみた人いますか。（児童挙手。）では家に帰ってからノートを開いた人。（一名挙手。）いいね。開いてみただけでもいいんです。ちょっと付けたししよう、なんてやりたりするととてもいいです。
- ・ （読む場面と読む人の確認。）読む人は立って大きな声でゆっくり。次の人は、前の人終わりそうになったら立って。そうするとすうっと流れます。聞く人は本をしっかり持って。

〈板書 場面を線で表す。一〜七〉

T こっち（二〜四）はだれが走った。 C けんじです。

T こっち（五〜七）は。 C のぶよです。

T のぶよ、けんじ、お母ちゃん、この三人の気持ちが一つになったのは前の方だったかな、後の方だったかな。

C 後の方だと思います。

T そうだね（後の方に○を付ける）。

T のぶよはけんじが走るとき、心配で校門で待ってたでしょ。だれを。

C お母ちゃんです。

T お母ちゃんを待ちながら、のぶよが考えていたのはだれのこと。

C けんじ、だと思えます。

T けんじがお母ちゃんを待ってることを、のぶよはいつから知ってるの。

C 朝です。

T 朝から知ってましたよ。だから心配した。

お母ちゃんが、けんじが待てることを知ってるのはいつから。

C 昨日です。

T そう、お母ちゃんは昨日の夜から知ってる。でも間に合わなかった。そのわけは？

C 行こうと思ったとき、お弁当の注文三十個入ったからです。

T このことを、けんじにお母ちゃんは伝えましたか。

C 伝えた。

T 伝えたら、けんじがいやだった気持ちは変わった？

C 変わってないと思います。

T まだ、いやなこと、けんじにはもう一つ気に入らないことがあったね。

C 弁当。

T お母ちゃんが持ってきた弁当も気に入らなかったね。それで行ってしまった。今日はそこをノートに書いて勉強します。行ってしまった後のところだから、…四番のところです。今から言うところをノートにうつしてください（指示を出す）。ちょっと長いけど、急がず、丁寧に書いてください。

9 : 35

*七人で、場面ごとに教科書を音読。
9 : 47



*児童はノートに書く。合わせて黒板に書く。

- T 途中の人もいるけど、そこまでにしてください。
- T みなさんが書いたノート、しっかりした字で書いていましたね。
- T では、これ(板書)読んでみますよ。心の中で読んでね。
- T では、大きな声で読もう。合わせてね。・・・
- (途中で切り) マスクのせいかな、こっちに届くように。
- T 分からない言葉ありますか。
- 「ごはんつぶ」は知ってるよね。「ごはん」というのとちよつと違うね。「だまって」と同じところは。
- C 何も言わず。
- T 「ごちごちした文字」って、どんな文字だ。
- C がたがたしたところで書いたからそうなった。
- T ちよつと違う。そういうことではないかな。
- C ぐちゃぐちゃ。
- T ちよつと、そういうとお母さんかわいそう。
- C いそいで書いた。 C 文字の位置がばらばら。
- T これね。柔らかい感じしますか? しないよね。すらすら書いた字ではない。ゆっくりしつかり書いた字かな、と私は思います。
- T (板書の部分を) 二つに分けるとしたら。
- C (切れ目を発表する。) C いいと思います。
- T こっち(前半)はだれのこと。 C お母ちゃん。(Tは傍点。)
- T こっち(後半)は。 C わりばし。(T、傍点を付ける。)
- T お店の物ではない、特製のものは何。
- C わりばしの袋。
- T 特製の物。それは二人まとめて応援してた?
- C (首を振る。ちがう。)
- T どこで分かる? どの言葉。
- C 袋に一つずつ書いてある。
- T それぞれに書いてある、と分かる言葉は。
- C 一つずつ。(Tは傍点を付ける。)
- T (前半)お母ちゃんがやったことは。
- C おにぎりを食べ始めた。 T これ一つ目ね(食べ始めたに線)。
- T 次になにやったの。次にしたことは。
- C (短く言うとき) 飲み込んでいった(飲みこんでに線。)
- T 何を。 C ごはんつぶ。 T どのように。 C ゆっくり。
- T この様子を見て、お母ちゃんの気持ちがよく分かったのは、だれ。
- C のぶよです。
- T だから、のぶよはこの後どうしたの。
- C お母ちゃんの文字の書かれたわりばしをけんじに届けました。
- T 家に帰ったら、後で読んでみてください。おしまいです。

